

令和2年度 由岐小学校 学校評価結果について

1 学校評価結果の傾向について

児童アンケート、保護者アンケート、教職員(自己評価)結果、学校関係者評価結果から、本校の学校運営、教育活動等について、ほとんどの評価項目において、概ね肯定的な回答を得ることができた。これは、家庭や地域の理解・支援・協力のもとに、教職員の取組と実践があつて、ある程度の成果を上げることができたと考えられる。今後も良好な結果の評価項目については、さらに成果をあげられるように取り組む必要がある。

一方、評価項目によっては、課題や問題点があることも否めない結果となった。改善の余地のある評価項目については、結果を真摯に受け止め、一人一人の児童のために、教職員が一丸となり、諸課題を改善できるように、教育活動に取り組んでいかなければならない。

2 学校評価結果等を踏まえた今後の改善方策について

以上のような学校評価結果等を踏まえて、学校教育目標「心豊かで、確かな学力を身につけ、自ら考え行動し、たくましく生きる子どもの育成」の達成に向けて、次年度は次の5点を重点事項として改善方策を立て取組や指導の徹底を図る必要があると考える。

(1) 学校経営について

- 地域に根ざした特色ある教育活動や地域の教育的資源を積極的に活用した教育内容・授業づくりを行い、地域と共に歩む学校づくりを推進するという経営方針をより明確にして学校経営を行う。
- 学校教育目標実現に向け、教職員の協力や同じ方針など一致協力した組織的な取組をより強固にした実効性のあるものを進める。

(2) 確かな学力の向上について

- 学習規律の確立を全校同一步調で進め、学習への準備・構え、話し方・聞き方・書き方の仕方などを徹底する取組を行い、正しい姿勢や落ち着いた態度で学習に取り組めるようにして、基礎・基本をしっかりと身に付け授業に臨むことができる児童を育成する。
- 確かな学力の育成の基盤となる学習習慣や学習意欲、家庭学習や読書習慣の定着及び向上を学校全体で図る。
- 指導方法の工夫改善や授業改善に学校全体で取り組み、「よくわかる授業」を実践する。

(3) 豊かな心の育成について

- 様々な教育活動を通じ人権教育を充実させ、他人の立場に立って考え、気持ちを理解し、行動できる児童を育てる。
- 学校の教育活動全体を通して、道徳教育を推進し、豊かな心や道徳心を育てる
- 学校や学級が、児童にとって安心して生活のできる居場所となるように、いじめの防止等に取り組む。

(4) 地域と共に歩む開かれた学校づくりについて

- 地域の各種団体との連携して、防災教育を推進し、自分の生命は自分で守ろうとする強い防災意識をもった児童を育てる。
- 地域の方の協力を得ながら、由岐地区にある豊かな自然、文化、歴史、産業などから様々なことを学ぶ「水プロ学習」「ふるさと学習」を充実させる。

(5) 特別支援教育の取組について

- 生活や学習上のもてる力を高めるために、児童の教育的ニーズを共通理解するとともに、保護者に対して丁寧な相談を行う相談体制の整備を行う。
- 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育を推進するため、校内研修等で共通理解を図るとともに教職員の特別支援教育に対する専門性の向上に取り組む。